

社文第676号
平成27年7月27日

岐阜県博物館協会会員 様

岐阜県教育委員会
社会教育文化課長

「岐阜～ふるさとを学ぶ日」における博物館施設の協賛について

残暑の候、貴職におかれましては、益々御健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本県の社会教育並びに文化振興に御支援、御尽力を賜り誠にありがとうございます。

さて、岐阜県教育委員会では、11月3日（文化の日）を「岐阜～ふるさとを学ぶ日」として、郷土の文化・歴史・自然に親しむ機会を増やすことで、県民の皆様が岐阜県に誇りと愛着をもっていただくよう取り組んでいます。また、文部科学省からも11月1日～7日の一週間を「教育・文化週間」として、教育・文化への関心・理解を深める行事や特別展の開催、施設の無料公開等の措置について要請されているところです。

つきましては、上記の趣旨を御理解賜り、地域の文化振興、岐阜県の博物館活動の活性化のために、貴館におかれましても下記のような御協力が可能かどうか、御検討いただきますようお願いいたします。

御協力いただけます場合には、別紙様式にその内容について御記入いただき、**FAXまたはメールにて8月26日（水）**までに御提出くださいますようお願いいたします。県で取りまとめのうえ、10月上旬頃に、「文化の日における協賛博物館施設」として、記者発表（記者クラブへの資料提供）するとともに、チラシに掲載して関係機関、各学校等へ配布する予定です。

記

「岐阜～ふるさとを学ぶ日」における取組の例

- 1 各地域の文化・伝統、各施設の沿革にかかわる催し物等の実施
(例) ・親子鑑賞教室
・講演会
・ワークショップ
- 2 入館料・観覧料等の減額または無料化、入館特典

※上記及び別添(H26年度のチラシ)を御参照いただき、可能な範囲内で御協力くださいますと幸いです。

岐阜県教育委員会社会教育文化課 教育文化係			
係長	吉田	担当者	梅田
電話：058-272-8756 直通			
FAX：058-278-2824			
E-mail：umeda-mio@pref.gifu.lg.jp			

みんなで行こう!

美術館・博物館

11月3日(文化の日)「岐阜～ふるさとを学ぶ日」は

下記の4文化施設に**無料**で入館できます。

高校生以下は
いつでも
無料!!

国史跡 高山陣屋

● 高山市八軒町1-5
TEL:0577-32-0643

● 開館時間
8:45~17:00(3/1~10/31)
8:45~18:00(8/1~8/31)
8:45~16:30(11/1~2/28)

● 休館日 12/29、12/31、1/1



江戸時代の御役所「高山陣屋」
元禄5年(1692)、徳川幕府が飛騨を直轄領とし、江戸から派遣された代官・郡代が明治維新にいたるまで行政・財政・警察などの政務を行った、全国唯一現存する御役所

特別展「幕領飛騨の御巢鷹山」
(11/3~3/31)

岐阜県博物館

● 関市小屋名1989(岐阜県百年公園内)
TEL:0575-28-3111

● 開館時間
9:00~16:30(4月~10月)
9:30~16:30(11月~3月)

● 休館日 月曜日



特別展「里山いま昔 -人と自然 あらたな“絆”を求めて-
(9/12~11/16)

11/3 イベント

① 講座・講演会
「モニタリングサイト1000里地調査とは何か」

② 秋まつり けんぱくワークショップ

岐阜県美術館

● 岐阜市宇佐4-1-22
TEL:058-271-1313

● 開館時間 10:00~18:00

● 休館日 月曜日



企画展示/「今をいろどる~現代日本画の世界」
所蔵品展示/「国内洋画 特集 矢橋六郎ほか」
「20世紀の美術」[ルドルフコレクション][特集 伊藤慶二]
「生誕100年記念 宗廣力三展 織のこころ」
「現代日本画の世界 サテライト 長谷川喜久」

11/3 イベント

① 無料ワークショップ「ひな人形」
(10:00~受付、先着40名、午前) 素焼きのひな人形に彩色


② クイズラリー(13:00~15:30) クイズを解きながら楽しく展示作品を観覧

岐阜県現代陶芸美術館

● 多治見市東町4-2-5(セラミックパークMINO内)
TEL:0572-28-3100

● 開館時間 10:00~18:00

● 休館日 月曜日



「古田織部四〇〇年忌 大織部展」 9/6~10/26
「世界とつながる本当の方法-みて・きいて・かんじる陶芸」 11/8~3/15

「象るかたち」 11/22~4月中旬(予定)
「荒川豊蔵・武夫展」 11/22~4月中旬(予定)
「SCENE:20世紀の陶芸(I)」 11/22~2/15

11/3 イベント

「古田織部四〇〇年忌 大織部展」
関連企画:織部好みの茶室、藪内家「燕庵」実寸大模型等

9月以降の企画展案内

□ …常設展示・所蔵品展示は年間を通して開催しています。

※県立4文化施設、高校生以下はいつでも無料です。

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国史跡 高山陣屋							
岐阜県博物館		里山いま昔 -人と自然 あらたな“絆”を求めて- (9/12~11/16)		発掘された飛騨・美濃の歴史 (11/22~2/1)		自然を楽しむ科学の眼 2014-2015 (2/7~3/15)	
岐阜県美術館		守一のいる場所 熊谷守一展 (9/5~10/19)	今をいろどる~現代日本画の世界 (10/31~12/14)			パラダイムシフト-タグチヒロシ・アートコレクション現代美術展 (2/3~5/17)	
岐阜県現代陶芸美術館		古田織部四〇〇年忌 大織部展 (9/6~10/26)		世界とつながる本当の方法-みて・きいて・かんじる陶芸 (11/8~3/15) 象るかたち(11/22~4月中旬予定)/荒川豊蔵・武夫展(11/22~4月中旬予定) SCENE:20世紀の陶芸(I) (11/22~2/15)			

県内各地の資料館・博物館等でも、イベントや特典がいっぱい

県内各地の協賛施設では、ワークショップ・講演会・ギャラリートークなどの楽しいイベントや入館料割引などの特典を準備して、皆様の来館をお待ちしています。詳しくはチラシ裏面又は各館にお問い合わせください。

- 岐阜地区** 三甲美術館/羽島市歴史民俗資料館・羽島市映画資料館/各務原市木曾川文化史料館/世界淡水魚園水族館(アクア・トトギス)/古田紹欽記念館/山県市美術館/本巣市富有柿の里古墳と柿の館
- 西濃地区** 奥の細道むすびの地記念館/大垣城/郷土館/守屋多々志美術館/スイトピアセンター(コスモドーム)/歴史民俗資料館/金生山化石館/墨俣一夜城(墨俣歴史資料館)/上石津郷土資料館/OKBギャラリーおおがき/揖斐川歴史民俗資料館
- 中濃地区** ナイフ博物館/関市洞戸円空記念館/関市円空館/美濃加茂市民ミュージアム/犬山焼徳利盃館/可児郷土歴史館/荒川豊蔵資料館/兼山歴史民俗資料館/日本土鈴館/古今伝授の里フィールドミュージアム/白山文化博物館/郡上八幡楽藝館/美並ふるさと館/明宝歴史民俗資料館/和良歴史資料館/松井屋酒造資料館/中山道みだけ館
- 東濃地区** 多治見市美濃焼ミュージアム/藤村記念館/中津川市苗木遠山史料館/中津川市子ども科学館/中津川市東山魁夷心の旅路館/中津川市鉱物博物館/中津川市中山道歴史資料館/熊谷守一記念館/瑞浪市化石博物館/瑞浪市陶磁資料館/瑞浪市市之瀬廣太記念美術館/瑞浪市地球回廊/サイエンスワールド/瑞浪鉱物展示館/岩村歴史資料館/中山道ひし屋資料館/中山道広重美術館/土岐市美濃陶磁歴史館
- 飛騨地区** 飛騨高山まちの博物館/ミュージアム飛騨/飛騨市美術館/高原郷土館/史跡江馬氏館跡公園/ガラス美術館 駒/飛騨の匠文化館/下呂ふるさと歴史記念館/小坂郷土館

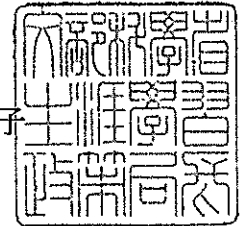
平成26年度「岐阜～ふるさとを学ぶ日」協賛博物館施設一覧

地区	施設名	所在地(電話番号)	期間・入場料など	館の紹介、期間中の展覧会、協賛企画等
岐阜	三井美術館	岐阜市長良福土山3535 (058-295-3535)	要予約「第10回文化講演会」2,000円(入館料込み) 11/3 14:30~16:00(13:30開場)	講師に作家・伝統文化評論家の若下尚史先生をお迎えし「神韻にふれるときの喜び」をテーマにご講演いただきます。所蔵品企画展『フランスを歩く』は、講演会入場料のみで観覧できます。
	羽島市歴史民俗資料館・羽島市映画資料館	羽島市竹鼻町2624-1 (058-391-2234)	11/3 無料 大人(高校生以上)300円、団体(10人以上)250円 中学生以下無料、障がい者割引(付添人1人まで)150円	市民の円空作品展(10/4~12/15)
	各務原市木曾川文化史料館	各務原市川島松倉町1951-4 (0586-89-6055)	入場無料(通年)	各務原市・川島町合併10周年企画展「木曾川漁獲一件」(きそがわとおりぎょうりょういつけん) 期間:7/24~11/30
	世界淡水魚園水族館 アクア・トトぎふ	各務原市川島笠田町1453 (0586-89-8200)	通常通り:大人1500円、中学高校生1100円、小学生750円、幼児370円	開館10周年特別企画「神秘的な大河〜グレイトアマゾン」
	古田紹欽記念館	山県市洞田127-131 (0581-36-1023)	入館無料(通年) 11/3オカリナコンサート500円(呈茶含む)入場制限有り	山県市出身 早矢仕有特別展の開催 10/7~12/14 医者であり実業家(丸善創業者)、また早矢仕ライスの生みの親として有名な早矢仕有特別展 11/3 オカリナコンサート
	山県市美術館	山県市大門850-65 (0581-36-3339)	入館無料(通年)	日本写真芸術学会正会員 堀和義写真展 9/13~11/9
	本巣市富有柿の里古墳と柿の館	本巣市上保1-1-1 (058-323-9333)	11/22~24 無料(通常:大学生以上300円、高校生以下100円)	船来山古墳群出土品の展示、赤彩古墳船来山272号墳復元石室の特別公開。企画展、親子歴史体験教室の開催。
西濃	奥の細道むすびの地記念館	大垣市船町2丁目26番地1 (0584-84-8430)	11/1~3 無料(通常:一般300円、団体150円、年間:1,000円) 大垣城・郷土館・守屋多々志美術館との4館共通券(一般600円)	第11回企画展「旅に生きた芭蕉、新風をめざして〜野ざらし紀行」、『奥の細道』〜(10/4~11/16)
	大垣城	大垣市郭町2丁目52番地 (0584-74-7875)	11/1~3 無料(通常:一般100円(団体20名以上半額)、18歳未満無料) 郷土館・守屋多々志美術館・奥の細道むすびの地記念館との4館共通券(一般600円)や、郷土館との2館共通券(一般150円)あり	関ヶ原合戦と大垣城に関する資料及び武士と庶民の文化や生活に関する資料を展示
	郷土館	大垣市丸の内2丁目4番地 (0584-75-1231)	11/1~3 無料(通常:一般100円(団体20名以上半額)、18歳未満無料) 大垣城・守屋多々志美術館・奥の細道むすびの地記念館との4館共通券(一般600円)や、大垣城との2館共通券(一般150円)あり	所蔵品展「氏庸と大垣藩ゆかりの書画展」(11/1~12/14)
	守屋多々志美術館	大垣市郭町2丁目12番地 (0584-81-0801)	11/1~3 無料(通常:一般300円(団体20名以上半額)、18歳未満無料) 大垣城・郷土館・奥の細道むすびの地記念館との4館共通券(一般600円)あり	特別展「美しい女性〜守屋が描いた歴史画の中の女性〜」(10/4~12/14)
	スイトピアセンター(コスモドーム)	大垣市室本町5丁目51番地 (0584-74-6050)	11/1~3 無料(通常:一般500円(団体30名以上300円)、18歳未満無料)	「秋の星座案内と夜空を飾る地図〜中国の星座をめぐる〜」(9/6~11/30)
	歴史民俗資料館	大垣市青野町1180-1 (0584-91-5447)	11/1~3 無料(通常:一般100円(団体20名以上半額)、18歳未満無料)	企画展「豊茶露の世界」(10/4~11/16)
	金生山化石館	大垣市赤坂町4527番地19 (0584-71-0950)	11/1~3 無料(通常:一般100円(団体20名以上半額)、18歳未満無料)	開館50周年記念特別企画展「故郷野先生の愛した化石たち」(10/11~1/31)
	墨俣一夜城(墨俣歴史資料館)	大垣市墨俣町墨俣1742-1 (0584-62-3322)	11/1~3 無料(通常:一般200円(団体20名以上150円)、18歳未満無料)	墨俣築城と豊臣秀吉の歩んだ道を中心に墨俣の歴史や人々の暮らしの様子について展示
	上石津郷土資料館	大垣市上石津町宮237番地1 (0584-45-3639)	11/1~3 無料(通常:一般100円(団体20名以上半額)、18歳未満無料)	企画展「むかしの暮らし 食をつくる II 調理道具のいろいろ」(10/11~12/25)
	OKBギャラリーおおがき	大垣市高屋町1丁目59番地 (0120-371543)	入場無料(通年)	ジュニア水彩展(9/19~11/16) 大垣市内小学生・中学生を対象とした水彩画の公募展。 ※大垣市主催「アートタウン大垣2014」に参画しており、11/3はスタンプラリー会場となっております。
揖斐川歴史民俗資料館	揖斐郡揖斐川町上南方901番地5 (0585-22-5373)	11/3 無料(通常:大人100円、小中学生50円)	9/2~11/30「秋の収穫品展」	
中濃	ナイフ博物館	関市平賀町7-3 (0575-24-2132)	無料(通年)	世界10数か国より集められたナイフを展示
	関市洞戸円空記念館	関市洞戸高賀1212 (0581-58-2814)	11/3 無料(通常:大人200円、中学生以下無料)	円空上人ゆかりである高賀の地にあり、生涯最高傑作といわれる、一木造り三像は必見です。
	関市円空館	関市池尻185 (0575-24-2255)	11/3 無料(通常:大人200円、中学生以下無料)	円空仏と弥勒寺官衙遺跡群の出土物展示及び銅網用具の展示
	美濃加茂市民ミュージアム	美濃加茂市蜂屋町上蜂屋3299番地1 (0574-28-1110)	通常通り。常設展示は通年無料。企画展は有料の場合あり。	地質時代、縄文弥生時代から現代までの展示。坪内逍遙、津田左右吉等郷土ゆかりの人物も紹介。
	犬山焼徳利壺館	可児市塩河3431 (0574-65-6416)	無料(通年) 無休	11/3 先着3名様に徳利進呈
	可児郷土歴史館	可児市久々利1644-1 (0574-64-0211)	11/3 無料(通常:一般200円、高校生以下無料)	会期:10/17~2/1 荒川豊蔵生誕120周年記念展「翁に集ったモノたち」
	荒川豊蔵資料館	可児市久々利柿下入会352 (0574-64-1461)	11/3 無料(通常:一般200円、高校生以下無料)	会期:10/17~2/1 荒川豊蔵生誕120周年記念展「豊蔵交友録〜袖振り合った人々」
	兼山歴史民俗資料館	可児市兼山675-1 (0574-59-2288)	11/3 無料(通常:一般200円、高校生以下無料)	常設展「兼山の歴史と文化」
	日本土鈴館	郡上市白鳥町大島1555 (0575-82-5090)	11/3 無料(通常:大人500円、小人300円)	平成27年度干支展(半)開催中
	古今伝授の里フィールドミュージアム	郡上市大和町牧912-1 (0575-88-3244)	11/3 無料(通常:一般310円、小中学生100円)	「岐阜の前衛短歌運動」展(11/1~)、短歌と造形がコラボレーションした現代アート展「歌となる言葉とたち2014」開催中(10/4~11/16)
	白山文化博物館	郡上市白鳥町長滝402-11 (0575-85-2663)	11/3 無料(通常:一般310円、小中学生100円)	白山に関する文化を写真・映像で紹介しているほか、隣接する白山信仰ゆかりの地である長滝白山神社・長滝寺・阿名院等の宝物を順次公開。
	郡上八幡楽藝館	郡上市八幡町島谷789-1 (0575-66-1011)	11/3 無料(通常:一般210円、小中学生100円)	明治37年に建てられた旧林療院(国登録有形文化財)を改修した資料館。
	美並ふるさと館	郡上市美並町高砂1252-2 (0575-79-3440)	11/3 無料(通常:一般210円、小中学生100円)	90体あまりの円空仏や昔の生活、民家や山小屋を手作りの展示で再現した資料館。
	明宝歴史民俗資料館	郡上市明宝気良154 (0575-87-2119)	11/3 無料(通常:一般210円、小中学生100円)	旧小学校校舎を利用し、郷土の民俗資料を約47,000点展示 このうち3,500点余りが国の重要有形民俗文化財に指定されている
	和良歴史資料館	郡上市和良町宮地1121-1 (0575-77-4011)	11/3 無料(通常:一般210円、小中学生100円)	和良町から出土した遺物や戸隠神社、白山宮代神社の宝物などを展示しています。
	松井屋酒造資料館	加茂郡富加町加治田688-2 (0574-54-3111)	11/3 無料(通常:大人300円、小人150円)	
	中山道みたけ館	御嵩町御嵩1389-1 (0574-67-7500)	無料(通年)	特別展「道中記〜江戸時代の旅ガイド〜」(〜12/21)
東濃	多治見市美濃焼ミュージアム	多治見市東町1-9-27 (0572-23-1191)	11/3 無料(通常:一般300円、大学生200円、高校生以下と障がい者無料)	加藤卓男展(9/4~11/3) 美濃焼の流れ(9/4~11/3) 美濃陶芸協会展(10/25~2/1) 現代陶芸展(10/25~)
	藤村記念館	中津川市馬籠4256-1 (0573-69-2047)	11/3 入館料割引(大人550円を400円に、子供100円を無料)	企画展「馬籠八景・古今の対話」開催中
	中津川市苗木遠山史料館	中津川市苗木2897番地2 (0573-66-8181)	11/3 無料(通常:一般320円、中学生以下無料)	秋の企画展「苗木の「腐仏殿」 苗木藩の寺院」展(8/2~11/30)・居合い演舞・琴ミニ演奏・クイズラリー(ちょっぴりプレゼント)・鎧の試着体験(先着5名)・KUNIIの昔語り(「赤壁城」の読み聞かせ)
	中津川市子ども科学館	中津川市駒場1657-1 (0573-66-9090)	11/3 無料(通常:一般320円、中学生以下無料)	光ファイバー研究の第一人者・末松安晴先生の顕彰堂をこの夏に新設しました。音・光・電気等の大型展示と手作り科学おもちゃミニプラネタリウムなどの展示も行っていきます。
	中津川市東山魁夷心の旅路館	中津川市山口1番地15 (0573-75-5222)	11/3 無料(通常:一般320円、中学生以下無料)	・奈良・唐招提寺への旅展(9/25~12/23) 東山魁夷心の旅路館「二つの月(リトグラフ)」ポスター先着30名様にプレゼント
	中津川市鉱物博物館	中津川市苗木639-15 (0573-67-2110)	11/3 無料(通常:一般320円、中学生以下無料)	第18回企画展「長島鉱物コレクション 寄贈50周年記念展」(11/1~2/22) 石割体験・クイズラリー・水晶さがし・ジェムストーンさがし・アクセサリーづくり
	中津川市中山道歴史資料館	中津川市本町2-2-21 (0573-66-6888)	11/3 無料(通常:一般320円、中学生以下無料)	・「水戸天狗党通行150年中津川宿だけの心遣い」展(9/30~3/31) ・クイズラリー
	熊谷守一記念館	中津川市付知町4956-52 (0573-82-4911)	11/3 無料(通常:一般320円、中学生以下無料)	・付知町出身の洋画家・熊谷守一の作品を常設で展示しています。 ・熊谷権作品展示(11/1~11/9)
	瑞浪市化石博物館	瑞浪市明世町山内1-47 (0572-68-7710)	11/3 無料(通常:一般200円、高校生以下無料)	特別展「サメ&エイー化石からみる板類の進化」(11/30まで)
	瑞浪市陶磁資料館	瑞浪市明世町山内1-6 (0572-67-2506)	11/3 無料(通常:一般200円、高校生以下無料)	特別展「瑞浪市無形文化財三人展」(11/3まで)
	瑞浪市市之瀬廣太記念美術館	瑞浪市明世町戸狩2-17 (0572-68-9400)	11/3 無料(通常:一般200円、高校生以下無料)	
	瑞浪市地球回廊	瑞浪市明世町戸狩67-1 (0572-68-9950)	11/3 無料(通常:一般200円、高校生以下無料)	
	サイエンスワールド	瑞浪市明世町戸狩54 (0572-66-1151)	入館無料 ただし右記イベントは要参加費400円	全国でも珍しい「体験型科学館」。11/3はチャレンジワークショップ「LEDランプシェード」を開催。LEDと美濃和紙を使ったランプ作り挑戦しよう。
	瑞浪市河野町1205	瑞浪市河野町1205 (0572-67-2140)	当分の間無料	20,000点の鉱物・宝石収蔵 各3,500、3,000点展示中
岩村歴史資料館	恵那市岩村町98 (0573-43-3057)	11/3 無料(通常:大人300円、高校生以下無料)	岩村町の古代〜近世までの史料や所蔵品を展示。県指定の「岩村城絵図」などを見ることができる。	
中山道ひし屋資料館	恵那市大井町60-1 (0573-20-3266)	11/3 無料(通常:大人200円、小・中・高生100円)	旧中山道46番目の大井宿内にある商家を改装した資料館。民具や往時の資料を展示。	
中山道広重美術館	恵那市大井町176-1 (0573-20-0522)	11/3 観覧料割引(大人800円を650円、小・中・高生500円を400円) ※他の割引との併用は出来ません。	歌川広重の浮世絵展示を中心にした美術館。特別企画展「サカウ・コレクション日本ポスター芸術浮世絵・引札から始まった広告アート」を開催(10/2~11/3)	
土岐市美濃陶磁歴史館	土岐市泉町久尻1263 (0572-55-1245)	11/3のみ入館無料(通常:一般200円、大学生100円、高校生以下無料)	9/4~11/30 特別展「重要文化財指定 元暦数載と織物の時代」※11/3は土岐市文化プラザホールにて関連の講演会開催(無料) 「文化財を護る・地域活性化に向けて」講師:三輪嘉六氏(九州国立博物館館長)	
飛騨	飛騨高山まちの博物館	高山市上ーの町75 (0577-32-1205)	無料(通年)	展示室は、江戸時代の豪商・矢島家と永田家の土蔵を活用しています。館内の永田酒蔵は、飛騨地方で最も大きな一つです。●催し:第34回飛騨の伝統工芸品展(11/1~11/30) 「まちをたのむラリー」を開催します。参加者には「さほほ折り紙セット」をプレゼント。
	ミュージアム飛騨	高山市千鳥町900-1 (0577-37-6111)	11/3 無料(通常:一般500円、小・中学生200円)	「日本の美 飛騨デザイン」をコンセプトに、優れたデザイン性を有する岐阜県産の製品をものづくりの盛んな飛騨地域から発信するミュージアムです。
	飛騨市美術館	飛騨市古川町若宮2-1-58 (0577-73-3288)	11/1~11/3 無料(通常:一般200円、高校生以下無料)	企画展「お江戸のおしゃれ」 葛飾北斎をはじめとした肉筆浮世絵(光ミュージアム所蔵)を展示
	高原郷土館	飛騨市神岡町城ヶ丘1 (0578-82-6001)	11/1~11/3 無料(通常:一般460円、小人250円)	神岡町のシンボルである「神岡城」、「旧松葉家(県指定有形民俗文化財)」、神岡鉱山の歴史が学べる「鉱山資料館」からなる施設。
	史跡江馬氏館跡公園	飛騨市神岡町殿573-1 (0578-82-6001)	11/1~11/3 無料(通常:一般200円、小人100円)	室町時代から戦国時代末期にかけて飛騨北部を治めていたと伝えられる江馬氏の居館である下館を一部復元している。
	ガラス美術館 駒	飛騨市古川町三之町1-17 (0577-73-6550)	11/3 観覧料割引(通常:大人300円を200円、小人150円を100円)	幕末から昭和初期にかけてのモダンなガラス製品を展示
	飛騨の匠文化館	飛騨市古川町吉之町10-1 (0577-73-3321)	11/3 観覧料割引(通常:大人300円を270円、小人100円を無料)	飛騨の匠の技を受け継ぐ地元の大工たちによって建てられた施設。各種の継ぎ手や木組みの見本等を展示。
下呂ふるさと歴史記念館	下呂市森1808-37 (0576-25-4174)	無料(通年)	飛騨川流域の歴史をテーマとした常設展示秋季企画展「三木氏の城・金森氏の城 戦国城館の発掘調査」(10/4~11/24)	
小坂郷土館	下呂市小坂町湯屋217 (0576-62-3610)	11/3 無料(通常:大人200円、中学生以下100円)	下呂市小坂地域の歴史・民俗資料と江戸時代の建造物「清原家」の公開	

27文科生第251号
平成27年7月8日

事 長 殿
各 都 道 府 県 知 事
各 指 定 都 道 府 県 教 育 委 員 会 教 育 長
各 指 定 都 道 府 県 教 育 委 員 会 教 育 長

文部科学省生涯学習政策局長
河 村 潤 子



(印影印刷)

第57回（平成27年度）「教育・文化週間」の実施について（通知）

今般、別紙1の要綱に基づき、第57回（平成27年度）「教育・文化週間」を実施することとなりました。

教育・文化週間は、別紙2のとおり昭和34年の閣議了解に基づくものであり、本年度57回目を迎えます。この期間中、全国的に教育・文化に関する行事等を集中的に実施することにより、国民の教育・文化に対する関心と理解を深め、もってその充実振興を図ることなどを目的としています。

ついでには、この期間内に教育・文化週間の趣旨に沿うイベント等を実施するなど、本週間の目的が達成されるよう格別の御配慮をお願いします。また、文部科学省では、教育・文化週間ロゴマークを別紙3のとおり制定しておりますので、教育・文化週間のイベント等の広報に是非御活用いただくようお願いします。

あわせて、域内市（区）町村及び市（区）町村教育委員会、所管又は所轄の学校その他の教育関係機関等及び学校法人に対しても周知いただくよう、御協力をお願いします。

（担当）文部科学省生涯学習政策局

政策課政策審議第一係

〒100-8959千代田区霞が関3-2-2

TEL：03-5253-4111（内線3458）

Fax：03-6734-3711

E-mail：syukan@mext.go.jp

第57回（平成27年度）「教育・文化週間」実施要綱

文部科学省

1 名称

第57回（平成27年度）「教育・文化週間」

2 趣旨

「教育・文化週間」（昭和34年9月4日閣議了解）の趣旨にのっとり、「文化の日」を中心として、教育・文化に関する諸行事を全国的に実施することによって、教育・文化に関する国民の理解と関心を深め、もってその充実振興を図るとともに、教育改革への一層の協力を得ることを目的とする。

3 期間

平成27年11月1日（日）から11月7日（土）まで

4 諸行事等の実施

(1) 教育・文化に関する功労者等の表彰

文化功労者の顕彰等、教育・文化に関する功績を顕彰する。

(2) 芸術文化に関する行事の実施

国内最大の文化・芸術の祭典として、「第70回文化庁芸術祭」を実施するほか、「第30回国民文化祭・かごしま2015」を開催する。

(3) 生涯学習の振興に関する行事の実施

生涯学習を通じた社会づくり・地域づくりを推進するため、「全国生涯学習ネットワークフォーラム2015（まなびピア2015）」を福島県で開催する。

(4) 教育・文化施設等における教育・文化関連行事の実施等

各地方公共団体及び国公立の学校、美術館、博物館、研究所等の関係機関等においては、地域に開かれた学校の活動、各種公開講座、この週間にちなんだ特別展、施設の無料公開等、各地方公共団体及び各機関等の実情に即した各種の教育・文化関連行事を実施する。

なお、行事の実施に当たっては、関係機関・団体の協力を求めて、広く「教育・文化週間」の趣旨の周知に努めることにより、地域住民がそれらの行事等に積極的に参加する意欲を喚起する。

(5) 「教育・文化週間」に関する広報活動の展開等

広く国民一般に「教育・文化週間」の趣旨を周知するため、文部科学省ホームページ等を活用し、各地方公共団体や関係機関・団体が実施する行事の情報を紹介するとともに、文部科学省メールマガジン・facebook・twitter や各種情報誌等を通じた広報活動を展開する。

また、平成24年に制定された「古典の日に関する法律」の趣旨（11月1日を「古典の日」と定め、国民の間に広く古典についての関心と理解を深めるようにする）の広報・周知活動を行う。

教育・文化週間について

昭和34年9月4日
閣議了解

1 趣旨

わが国の教育および文化に関し、関係者はもとより、ひろく一般国民の関心と理解を深めるとともに国民全般の協力を得、もってその充実振興をはかるため、教育・文化週間を設け、できるかぎりこの週間中に各種の教育・文化に関する行事を集中的に実施し、目的達成に資するものとする。

2 期日

11月1日から7日まで(1週間)とする。

3 行事

文部科学省および各教育委員会が中心となり、関係機関および一般の協力を得て、たとえば教育・文化に関する資料の作成・公表、教育・文化功労者の表彰、父兄等の学校等の参観、展覧会、座談会等の開催などこの期間の趣旨に沿った行事を全国的に実施するものとする。

理由

わが国の教育および文化に関し、一般国民の関心と理解を深め、その充実振興に資するため、教育・文化週間を設け、各種の教育・文化に関する行事を集中的に実施する必要がある。

教育・文化週間 広報周知御協力をお願い

① 教育・文化週間のサイトへのリンクについて

広報活動の一環として、教育・文化週間のサイトへのリンクをしていただけますようよろしくお願いいたします。

また、バナー（サイズ 170×50px）も御用意してありますので、是非御活用ください。

（詳細は、教育・文化週間のサイト「リンクについて」を御覧ください。）

※今年度の教育・文化週間の関連行事は、10月頃に更新する予定です。

② 教育・文化週間ロゴマークの御活用について

文部科学省では、教育・文化週間ロゴマークを制定しております。中央のキャラクターは、故・石ノ森章太郎氏がデザインを手がけた、生涯学習のイメージキャラクター「マナビィ」です。本週間に行われる様々なイベントをきっかけとして、「生涯を通じて学ぶこと」の楽しさを体験していただければとの意味を込めて、マナビィを用いています。

ロゴマークは文部科学省ホームページよりダウンロードできますので、教育・文化週間のイベント等の広報に是非御活用ください。



【教育・文化週間のサイトアドレス】

(http://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/kyoiku-bunka/index.htm)

ダウンロード先

文部科学省ホームページ「教育・文化週間」

文部科学省 教育・文化週間

検索